

# 令和4年第3回定例会 建設環境委員会 所管事務調査経過報告書

## 1 「入曽駅周辺整備事業における道路整備等の進捗状況について」

### 説明の概要

#### 1. 駅前広場、道路整備の工事進捗状況

令和2年度より入曽駅東口土地区画整理事業については工事や物件補償契約を実施しており、雨水管、污水管の敷設や排水構造物の設置、歩道部、車道部の路盤、雨水浸透貯留施設、水道、ガス管の埋設も部分的に完了している。

地区内の一部の地権者やお茶加工事業者の建物は、補償契約を締結し、解体が完了している。現在、地区内の一地主権者についてB街区の換地先に建築中で、完了次第移転し、現在の建物を解体する予定である。

#### 令和4年度入曽駅周辺整備事業の実施予定

区画道路1号線には、インターロッキングによる歩道の仕上げやB街区の左側に換地される地区内地権者の土地利用のため、車道を一部舗装する。

駅前広場は、雨水管、污水管の敷設は今年度工事として完了しており、雨水浸透貯留施設の設置や部分的に排水構造物の設置、歩車道の路盤について施工予定である。

金融機関の建物については、9月議会において債務負担行為が議案として承認された段階で、物件移転補償契約を締結する予定となっている。

#### 2. 複合型商業施設の誘致の状況

##### ①区画道路1号線の開通見込みの時期

地区内の金融機関は、移転に伴う設計会社と施行会社が決定し、工程が提示され新店舗の建築工事は令和5年3月から開始され、令和5年12月に完成する。その後、新店舗の開業準備を経て、令和6年1月末に新店舗を開店する。開店後の令和6年5月に土地の引渡しの手続きが完了しており、それにより、区画道路1号線の工事を行い、その後、令和6年11月に供用開始される予定である。

複合型商業施設の開店はそれ以降となり、現段階で事業者との打合せでは、まちびらきと併せて施設のオープンを実施したい意向で、今後も継続して調整を続けていく。

##### ②小学校跡地ケヤキ

ケヤキに関しては、以前から周辺住民から、風雨による落ち葉の処理に対する苦情が寄せられているほか、風雨時には敷地内において枯れた大枝や樹皮の落下も発生している。また、入間小

学校跡地利活用事業においては、入曽周辺を活性化させるため、大いに期待される複合型商業施設の出店について、よりよい提案を受ける必要があることや、ケヤキの周辺が駐車場などで整備されることでケヤキの衰退が進み、大枝や樹皮の落下、倒木などのリスクがより高まることが想定される。

開店した商業施設の安全面からも、市として、これらの状況を総合的に勘案した結果、苦渋の決断ではあったが、ケヤキを残すことは難しいと判断し、伐採、抜根を決定した上で進出事業者を募集した。

このケヤキの命を次世代へと確実につなぎ、この先もずっと入曽地区を見守る存在であり続けられるようにケヤキの加工品など、形を変えても身近な存在であり続けられるような検討を行っている。

各種イベントの開催や、ケヤキの後継木について希望者への配布や、周辺の公共施設などでの植樹を検討するため、苗木を育てている。また、小学校跡地の店舗敷地内に後継木を植樹できるよう、現在、進出事業者と協議を行っている。

後継木は、狭山市立都市緑化植物園において270株程度育成中で、最終的に、間引きしながら200株程度作成する予定である。最近の後継木の苗木の配布についての問合せが増えており、配布方法については、育成方法などの条件を希望者に伝えた上で、市民を中心に希望者を募り、苗木を配布できるように調整を進めていく。

### 3. 橋上駅舎及び東西自由通路の整備における実施設計の進捗状況

現在、実施設計業務として構造計算や構造図、意匠図、電気図、設備図等、各種詳細図の作成を進めており、今後その図面から数量の算出を進める。その作業と並行して、施設を建築する敷地の確定を行い、開発審査課による狭山市宅地等の開発に関する指導要綱に基づく事前協議の各課協議、建築審査課による建築基準法第44条の道路内建築制限の許可に向けた道路管理者等と連絡協議会の手続を併せて進めている。

今後は、道路内の建築制限の許可に向けた建築審査会の開催や、建築確認申請に向けた調整を行い、令和5年度から鉄道事業者と協定を締結し工事着手に向けて進める。

## 主な質疑

○全ての浸透貯留施設の設置が完了した際の雨水の貯留能力は。

●東口駅前ロータリーの中央に設置する部分は、267立方メートル貯留可能。公園1号に設置される貯留槽が約71立方メートル、公園2号にある貯留槽には129立方メートルの雨水が貯留できる。降雨強度で表すと時間75ミリに耐えられる設計となっている。

○近年の豪雨は、想定以上のものがあり、全て完全に対応はできないにしても、今までの状況よりも格段に改善された状況になると考えてよいか。

●豪雨量にもよるが、今までに比べれば水はけが良くなり、水のたまり具合は減少すると考えている。

○新商業施設の中には浸透貯留施設はできないのか。

●開発行為により、県で定めた流量によって、その面積に合った浸透貯留施設を同様な形で進出事業者が建設することになっている。

○入曽駅周辺整備には、ロータリーがあり、それと商業施設に挟まれる形で区画道路1号線が通る。商業施設ができた場合には、駅利用者がロータリーを経由して区画道路1号線を渡って商業施設を利用することが考えられる。歩行者の安全確保のための、この道路への信号機の設置に対する市の見解は。

●この交差点は商業施設や駅の利用者により歩行者が増えることは予想しており、警察協議の中で、信号機の設置を要望している。

○ケヤキを残した場合、現計画にどのような影響が出るのか。

●現在のケヤキを残すと、入曽地域の皆様から非常に要望の多かった、子育て世代や若い人たち向けのブックカフェ、キッズパークという施設の計画に支障が出る。交流人口の増加に対して有益な施設を見送るということになるので、ケヤキを残すことは非常に難しいと考えている。

○供用開始後渋滞等も含め、区画道路1号線の将来像は。

●供用開始に伴い、交通量の増加が懸念される。

商業施設の中の出入口は、3ヵ所設けており、駐車場に至るまでのアプローチの距離を長めに取り、車両がある程度滞留できるような、渋滞対策を考えている。それに合わせて市道B第296号線を経て、入曽駅入口交差点から区画道路1号線に接するまでの道路拡幅は、道路整備課による事業が開始され、道路用地の買収も残り1件となった。道幅も広がり、歩道も設置され、入曽駅入口交差点は、右折避讓帯が設置され、慢性的に渋滞が起きている原因の右折車の滞留が、解消される見込みである。また入曽交差点の県道川越入間線の川越側についても埼玉県で拡幅整備を進めており、それらを総合的に判断して渋滞対策を検討していきたい。

○この区画道路1号線ができることにより、入曽停車場線に与える影響や、改善される見込みはどのように考えているか。

●現在の入曽停車場線は、道幅が狭く、人と車が交錯するような状況になっており、ロータリー、区画道路1号線が整備されることによって、入曽停車場線自体の交通量は区画道路1号線に移行していくと想定をしている。

○ケヤキに思いを持っている方がたくさんおり、そういう方に市としてどのように応えていくのか。

●1万6,082件ほどの署名があり、その中でもオンラインの署名が非常に多く、全体の署名の中で1万5,578通あった。その中で狭山市の住所の記載のあったものが全体数の0.6%になる。

オンライン署名では、基本的に大半の方が入曽のまちを本当にどれだけ理解しているのか、今後、後継木の育成や、加工品を作って皆さんにお配りする等、後世につなぐ取組を理解して実際に署名をされたのか、疑問が残るところである。

後継木や加工品の配布については、具体的に決まった段階で、改めて説明する機会を設けたい。

○区画道路1号線に県道川越入間線から入る交差点に信号機を設置し、右折車両のスムーズな進行を図れないか。

●要望はしているが、交差点の間隔が狭過ぎ、信号機の設置は不可能と警察から言われている。渋滞に関しては、新しい商業施設も来ることであり、総合的に考えて、いろいろな要望、対策を検討したい。

## 主な意見

○区画道路1号線との関係で、周辺道路の安全確保について、県、警察に対して強く要望されたい。

○多種多様な意見もあるが、市の重点事業であるから、多くの課題を解決し、数年後のまちびらきを目指して、頑張って進められたい。

○駅ができ、商業施設ができ、そこで終わりということではなく、将来のまちづくりを見据えて取り組んでいることのPRを積極的に行い、周辺住民の方、現在反対されている方々のご理解が得られるように、丁寧に進められたい。